

取扱説明書番号
D100-RGXD

室内用

電波時計

取扱説明書

(デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みの
うえ、正しくお使いください。
取扱説明書は、お読みになった後もお手元に保管
して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元

リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

(Y2210)

●本保証書は再発行いたしません。

※印は販売店記入

GUARANTEE

保証書

取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期
間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計をお
買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整
いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上
の権利を制限するものではありません。この保証書は、
お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺
印をお確かめのうえ大切に保管してください。

※品名・型番

※保証期間

お買い上げ年 月 日より 1年間

お客様ご氏名様

ご住所

TEL() -

※販売店印(住所、店舗名、電話番号)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
必ず守ってください。

図記号の説明

⓪は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

①は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

⚠

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、
幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の
治療を受けてください。

⚠

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止
するために、次のことを守る

●電池に傷をつけない。

●電池を分解しない。

●電池をショートさせない。

●電池を充電しない。

●電池を加熱しない。

●電池を火の中に入れない。

⚠

梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。

⚠

電池の液漏れが起きたときは、素手でさ
わらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い
流して医師の治療を受けてください。衣服に付
着した場合は、すぐに水道水で洗い流してくだ
さい。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症など
の障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取っ
てください。修理が必要なときは、お買い上げ
の販売店または当社お客様相談室にご相談く
ださい。

⚠注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

⚠

電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故
障の原因になります。

⚠

強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

⚠

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿に
なる所では使わない
さびや故障の原因になります。

⚠

ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

⚠

分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

⚠

液晶から漏れた液に素手でさわらない
破損で漏れた液には絶対にふれないでください。
万一、手などに付着した場合は、すぐに石けん
で洗い流してください。

⚠

下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、
故障の原因になります。

●直射日光が当たる所。

●暖房機器からの風が当たる所。

●温度が－10℃以下または＋50℃以上の所。

●火気のそば。 ●ほこりが多く発生する所。

●強い磁気が発生させる機器のそば。

●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。

●プール、温泉場などガスの発生する所。

●調理場など多くの油を使用する所。

●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふ
れさせておくと、色移りや付着、変質することが
あります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計、電池の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

静電気の影響について

- 静電気により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してならんら責任を負いかねますのでご了承ください。

保証について

- 販売店の方へ
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。
- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。
 1. 保証書のご提示がない場合。
 2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
 3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
 4. お客様のお手元に渡ってからの取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
 5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
 6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
 7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケースなどの小キズ)。
 8. 電池の交換。
- ※送料・出張料は、実費をお客様にご負担願います。
- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、製品の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント

正しく使って事故をなくしましょう

●プラス(+)、マイナス(－)を間違えない。

●長期間使用しないときは電池を取り外す。

●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。

●古い電池と新しい電池を混ぜない。

●時計が動いていても定期的に交換する。

●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

●幼児の手が届かない所に置く。

●種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。
(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。
ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼／夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。
※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://ijy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。
海外でご利用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	－10～ 50℃ *結露しないこと (液晶表示可読温度範囲0～40℃)	温度表示範囲	－9.9～ 50℃
時 間 精 度	電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度)	温 度 の 精 度	±2℃
使 用 電 池	単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6P 2個	湿度表示範囲	20～95%RH(注) 温度が5～50℃のときに表示
電 池 寿 命	約1年(1日当たりアラームを音量大で30秒鳴らし、照明を3秒点灯した場合)	湿 度 の 精 度	±10%RH
標 準 電 波 機 能	標準電波受信により自動時刻修正	測 定 間 隔	1分間隔
受 信 局	福島局/九州局自動選択	(注)湿度は相対湿度です。[%RH]は相対湿度を表しています。 天気予報など一般には[%]が使用されています。	
受 信 ON/OFF	あり	※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなることがあります。 40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。常温に戻れば、正常に表示します。	
受 信 回 数	8回/日	※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。	
受 信 開 始 時 刻	1～4時、13～16時の時間帯の16分40秒	※単3形アルカリ乾電池を使用することができます。種類の異なる電池と混ぜて使わないでください。	
アラーム機能	設定した時刻にアラームを鳴らす	※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。	
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒	※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。	
アラーム音	電子音(鳴り方が変化)		
音 量	大/小 選択方式		
ス ヌ ー ズ	アラーム音が約5分間の一時停止		
オートストップ	アラーム音が連続2分で自動停止		
カ レ ン ダー	2011～2099年対応		
時刻表示形式	12時間/24時間 選択方式		
照 明	スヌーズボタンを押すと3秒間照明		
防滴防塵機能	なし		
付属品	取扱説明書・保証書 本書		

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

- 修理部品の保有について
電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

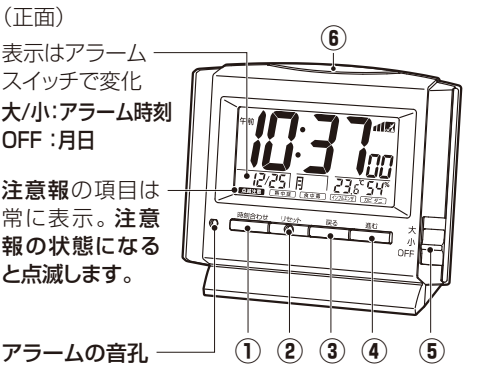
お問い合わせ先 (フリーダイヤル) お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)
お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります
製品番号(型番)をお伝えください。例 8RZ〇〇〇

電池は付属しておりません。単3形マンガン乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

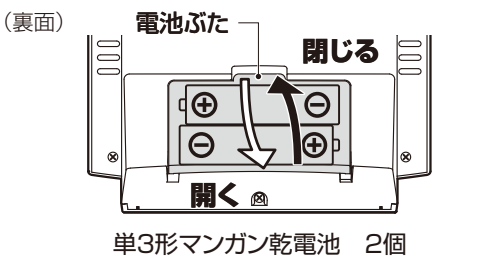
◎図は操作説明用ですので、実際のものと異なることがあります。



- ①時刻合わせ — 手動で日時を合わせるときに使用。押してすぐ離すと12/24時間表示切り換え
 - ②リセット — 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。押すと2011年1月1日午前12:00、アラーム時刻午前6:00になります。
 - ③戻る — アラーム時刻や手動で日時を合わせるときに使用。
 - ④進む —
 - ⑤アラームスイッチ — アラームのON(大)/OFFスイッチ。
 - ⑥スヌーズ — アラーム音の一時停止。ライトボタン兼用。
- ※液晶の表示は、見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。

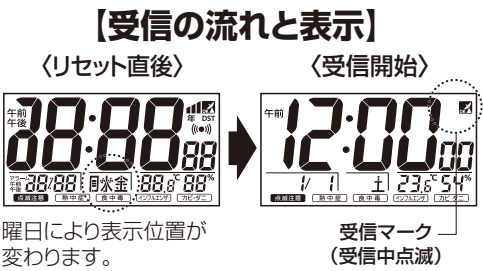
1 使いはじめるとき 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**手動での時刻合わせ** をお読みください。



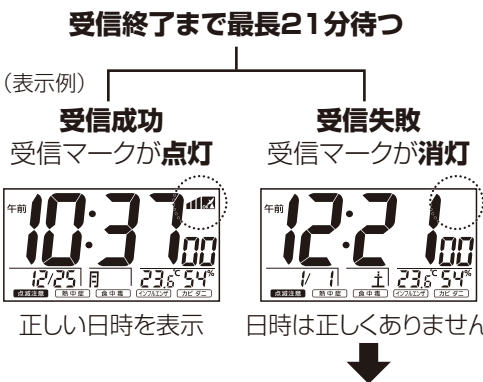
電池を入れるときは、電池ふたを開閉してください。

注意
電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。



電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2011年1月1日 午前12:00、アラーム時刻午前6:00に設定されます。

受信中の受信マークの変化(電波サーチ機能)
電波の状態により変化します。

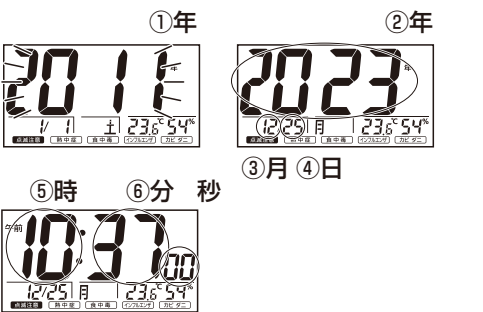


標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく
と受信できる可能性が高くなります。

手動での時刻合わせ … 電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時/分)の順に設定してください。



- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- アラームが鳴っているときやアラーム時刻が点滅しているときは、日時の設定はできません。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

- ①電池を入れる
電池を入れると「ピー」と鳴ります。
※短い時間に電池を入れ替えすると鳴らないことがあります。
- ②楊枝など細いものでリセットボタンを押す
「ピー」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。
※受信中はボタンに触れないでください。
- ③21分待ってから受信結果を確認する
受信は最長で21分行います。受信マークで受信結果を確認してください。
→【受信の流れと表示】参照

※転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。

- 受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。
- 受信に成功しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を試みてください。
- 電波の受信中に**進む**または**戻る**ボタンを押すか、**時刻合わせボタン**を約2秒間押し続けると、受信マークが消灯して受信を中止します。

チェック!
1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えて**リセットボタン**を押し、再度受信を開始させてください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起さる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

2 アラーム機能を使う

アラーム時刻を合わせる

- ①アラームスイッチをOFFにする
アラーム状態のときは、アラーム時刻を設定することができません。
 - ②進むまたは戻るボタンを押してすぐ離す
「アラーム」が点灯して、アラーム時刻が点滅。
 - ③進むまたは戻るボタンでアラーム時刻を合わせる
- | 操作 | 押してすぐ離す | 押し続ける |
|----|---------|-------|
| 進む | 1分進む | 早送り |
| 戻る | 1分戻る | 早戻し |

12時間表示のときは午前/午後表示に注意

- ④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

アラーム状態とは、アラームが鳴っている、またはスヌーズ機能を使用している状態です。

アラーム音を試聴するには

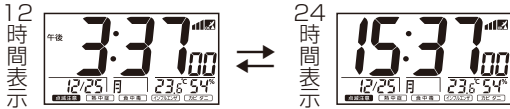
アラーム時刻を現在時刻より、1～2分進んだ時刻に合わせて、アラームスイッチを「小」または「大」にしてください。設定した時刻にアラームが鳴り出します。

アラームご使用上の注意

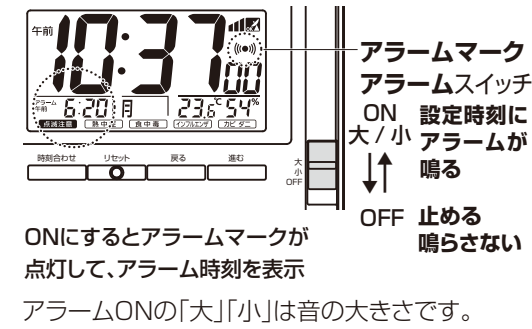
アラームスイッチをOFFにしないと毎日アラームが鳴ります。アラームを使わないときはOFFにしてください。

時刻の表示形式を切り替え

時刻合わせボタンを押してすぐに離すと午前/午後付12時間表示と24時間表示が切り替わります。



アラームスイッチのON/OFF設定



◎**スヌーズ機能**(止めてもまた鳴る)
アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマークが点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴りだします。
この操作は7回まで繰り返すことができます。
8回目からはスヌーズ機能は使えません。

◎**オートストップ機能**(自動鳴り止め)
鳴っているアラームを放置すると約2分で止まります。

照明について

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと表示面が約3秒間照明されます。照明をしたときは、時計上方より見てください。他の方向から見ると読みにくいことがあります。

温度・湿度・注意報について

本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。

- センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度・湿度を反映するまでには時間がかかります。
- 直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
- 測定する高さによっても、温湿度に違いが出ることがあります。
- ※厳密な温湿度管理をする用途には適していません。また、温湿度の証明や商取引には使用できません。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HH.H」50℃を超える高温 「LL.L」-9.9℃未満の低温
湿度「HH」95%を超える多湿 「LL」20%未満 「--」測定不能(温度が5～50℃の範囲外)

注意報の点滅表示 温度・湿度の条件により該当する注意報が点滅します

- 熱中症 高温環境下で発症しやすくなります。
- 食中毒 菌が増殖しやすくなります。
- インフルエンザ インフルエンザウイルスによる感染が起こりやすくなります。
- カビ・ダニ カビやダニの生育に適した条件です。

※注意報は、発生の有無を断定するものではありません。空調や体調管理などの目安としてお使いください。また、公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

注意 電池の液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。
- 動いていても1年に1回、定期的に指定の電池に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

受信機能 OFF(時刻を標準電波で修正しない)
リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。
○「ピー」と鳴ってから押してください。
○OFFになると「ピー」と鳴りません。
○日時は手動で合わせてください。

受信機能 ON(有効にして受信を開始する)
戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピー」と鳴って受信を開始します。その後に**戻るボタン**を離してください。標準電波を定期的に受信して標準時に合わせます。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作をやり直してください。

※受信機能の設定は、電池を抜いて回路内に電荷がなくなるとONになります。

リセット操作

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときにリセットボタンを押します。
リセット直後は、2011年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00になります。
受信機能がONのときは、受信を開始します。